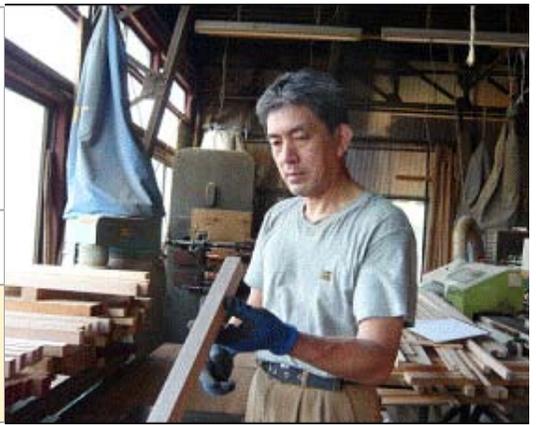


(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin.com/>



東銀座で群馬産建具を披露

群馬県建具組合連合会（大澤直也会長）は2月11日から13日までの3日間、東京都中央区のぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」2階で「ぐんまの建具・木製品展示会」を開催。群馬の木工業者による製品を東京のユーザーに発信した。特に東京の一般ユーザーの認知度向上を狙ったもので、伝統的な組子細工を施した衝立や通風機能を付与したアイディ

アに溢れる通風障子などの建具製品以外に、日常生活で使用する家具や小物製品も用意。西建が製作した囲炉裏風の座卓ダイニングテーブルは櫻材をテーブルに使い、中央にIHコンロを配置した和風の家具に現代の機器を融合させた家具製品。椅子には群馬県産の杉材を使い、座面には桐生産の織物を採用するなど、地域色を出している。

国産材の注文建具に特化

中央建具製作所（平松論社長）は昭和20年（1945年）創業以来、木製建具とフラッシュドアの専門メーカー。取引先は木製建具ルート100%で殆んどが注文建具主体による生産である。昭和30年代、規格建具とフラッシュドアの生産量が増加し、従業員30人前後の規模にまで成長する。最盛期は45〜6人あり、長野や九州からの集団就職での中卒、高卒者を雇用斡旋に協力した。昭和35年、

法人化組織「株式会社」に資本金200万円で改組する。現在の資本金は1000万円、社員数6人体制で規格から注文建具に切り替えて製造品目を手掛け、フラッシュドアは全体の10%程度となっている。材料は名古屋市内の材木店などから製材品を必要分だけ仕入れ、スプルー、アガチスなどの外材や、スギ、ヒノキなどの国産材など、発注者が希望する木材を使い、注文に併せて全般に使われている。

